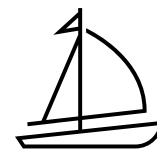


2025/8/27~31

「蒲郡中部学生ヨットアジアプレ大会」の報告



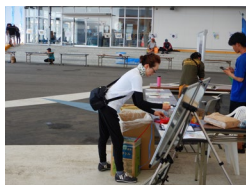
伊勢湾の環境を守る！～伊勢湾・三河湾の再生の取組について～

初コラボ！ JSAFさんの「残したいのはきれいな海」のテーマと学生さんといっしょに、伊勢湾再生PR活動

夏空に【sailor】たちで賑わった
蒲郡・豊田自動織機 海陽ヨットハーバー！



【伊勢湾再生に向けた取り組み概要と、
ブルーカーボンに関する情報ブース】の開設
＜対応；みなと総合研究財団＞



・ブース準備中☆



・堂々とブース紹介！

- ・伊勢湾再生に関する資料配布(2種)
- ・ブルーカーボンパンフレット配布
- ・ブルーカーボンに関するQ&A



おまけ ●レースのスタートを近くから！

JSAFの永井さんの思いと研究課題と伊勢湾再生をいっしょにPR。

ブースには、伊勢湾・三河湾の豊かさやブルーカーボンについて紹介したパネルや冊子を置き、また今回は事前より打ち合わせを進めてきた課題の目玉、「**Re セイル**」活用！皆さんのアイデアが盛り込まれていました。

破れて使用が出来なくなったヨットの帆を再利用して、「ビューティー手芸部」2名がそれぞれ発案した、「**クルミボタンのアクセサリ♡おしゃれな手元にブレスレット**」や「**髪結うゴム**」、「**マイペットボトルはこれよマーク**」、「**忘れないメモにはマグネット**」に変身させ、身近に活用できるような「そばにいるよ、作戦」として、工夫した環境工作として体験できるようにとキット一式も会場に持込ました。また、永井さんのミシン部隊では、1cm幅くらいの紐状にしていたので、**sailorたちが海上で自分のペットボトルを海ごみとして流さないために、おぼれたひとがいれば、そのボトルを投げればいのちを救えるひとつの方法となるように、「ペットボトルレスキュー」と合体させる等工夫を凝らされていました。**また最終日には、「海岸清掃活動」として、学生会長が主導となり、星越海岸へ。活動WG委員の坂野さまもご参加し、「日本財団」のゴミ袋はいっぱいになりました。



・永井さんのアンケートへのQRコードと、紐状にした、「**Re セイル**」



・活動WG委員の浅井副理事長もQRコードからアンケートに挑戦



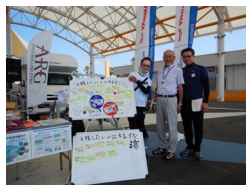
・そして「残したいのはきれいな海」への宣言



・そして学生会長とともに宣言手伝いを



☆
☆
・最終日の賑やかブース



・「宣言」が
ここまでいっぱい！



○環境工作グッズ ○「Reセイル」クルミボタン工作 ○日本財団ゴミ袋 ○海岸のゴミ ○マリングッズを購入で楽しむ